

宿泊保育実際

岡山縣女師附屬幼稚園

宿泊保育の動機

イ、幼稚園での生活は一日の四分の一乃至三分の一に過ぎず、後は全部家庭での生活であります。然るに幼稚園は家庭教育を補ふものであるから、現在の保育以外に残された部分の生活指導が澤山あると考へます。そこで其の指導をしてみたいのです。

ロ、當幼稚園児の家庭は相當教育に理解があるが下女下男を使用して居る關係上依頼心の強い子供の多い事が缺點であるので、其の抑制を計り度のである。

ハ、保姆に一層親しませたい、友達と眞實の相互生活を營ませたい。

ニ、子供の個性を知りたい。

是等諸點を考へ合せまして宿泊保育を試みた譯です。

宿泊保育の實際

イ、要項

宿泊日 一週二回、保母が非常に疲れるのと普通の保育に障つてはならぬといふ顧慮から特に二度と致しました。

人數 七人、保母數が少いのと子供の眞實生活交渉から考へて十人以内が適當と思つて今回は取敢へず七人宛試みました。

附添保母 一日二名

行事 1、幼兒登園 午後四時より五時迄の間

2、夕食 午後五時半

3、食後 談話會唱歌會レコードコンサート

4、散步 主として郊外へ（社會並自然觀察）

5、就寝前 自七時至八時（室内自由遊）

6、就床 午後八時頃

7、起床 午前七時頃

8、神詣

9、朝食

魚或は牛肉の煮付少量

卵一個と野菜少量

朝食

牛乳一合

パン

果物少量

四、實際狀況

この試みに就いては勿論経験もなく、私共の見聞内ではまだ何處にもその実施を見ませぬので少しも見當がつきませんでしたが、是非やつて見たいとの考へから、先私共の計劃及宿泊保育要項を家庭に通知して其賛否を尋ねました所、大變家庭の賛成が多いので子供達も非常に喜びまして其申込數は全幼児の三分の二以上になりました。二年保育児中にも多數の申込がありました。後の申込まなかつた家庭にも全部賛成はしたが子供が手數が懸つて氣の毒だから等との遠慮からでした。子供が母親を離さないといふのは僅かに三人であつた。この中にも他の友達が宿泊をして居る内に子供がどうしても聞きいれながらとて申込む家もあります。それのみならず姉が泊るから弟も、妹が泊るから小學校の兄もと訓導の先生を困らせる様な次第です。

私共は斯く迄も澤山の申込は無いだらう贅否もうたがはしいと思つて居つた所へかく多數の申込をうけて斯迄もつまらぬ私共を子供も親も依頼して任せて呉れるかと思つた時感謝の涙を催さずにあるらなかつたのです。

そこで是れを何回にも割りあてゝ宿泊さす事に愈々定めた譯であります、先一回は萬一の失配を心配して一年保育児の比較的元氣想な男女兒七名を選びました、然し夜中に泣き出したら家迄連れる位の覺悟はしてゐた。

登園

子供達は普通の保育が終ると一先家に歸つて午後四時頃から自分の携帶品を持つて一人宛來ます一旦歸宅さすのは子供や親を安心さす爲めです、私共はかうした子供を迎へる時普通朝子位を迎へる時と餘程違つた氣持である事を氣附きました、何だかより以上の慕しさと愛とを感じました、子供の方でも先生來たよと隣りのあばさんの家へでも來た様な心安さで而も大きな風呂敷包を自分で抱へて來ます。

夕食

夕食は私共が調へますが配膳等は勿論子供達が手傳ひます、かうして五時半頃保姆一人子供七人の九人家族が一つ卓を圍んで食事しますが晝の食事に比べて眞に打解けて落付いて戴けます、何だかほんとうに飯事をしてゐる様な心持がします。

散 歩

食後の散歩は平常の園外散步では得られない味のあるゆつたりとした氣持で子供にとつては最愉快な散歩をする事が出来ます。家庭では種々の事情で散歩の出来ぬ者もあるだらうし、よし散歩してもそれは殆んど父母本位の散歩になつて仕舞ひませう。

就 寢 前

就寝前の三十分程を机に向つて今見て來た事を描いて母様への土産に上げませう等いつて描かせて見ますが、其度毎に私共は驚かされます無理やりに見よとて觀察させたものぞもない唯教育的な氣持をもつて其子供達を見て居た丈です。即境遇を興へたに過ぎませんが子供は不知不識の内に自然社會等種々の方面の收得をして歸つて來て居ます。

就 寝

八時には床に入りますが仲々直には寝ません友達と布團の中で相撲取をする、隣りの子供の蒲團の中にもぐり込む、したゝか大さわぎするが私共が添寝して話等してやると其れを子守歌に一人寝二人寝して八時半頃には全部寝てしまひます。寢室は疊敷の室を使ひます一回目からは二年保育の子供も混ぜますし一人の子で母の懷をさぐり乍ら寝て居た子、末っ子のあまへつ子も、始めて他家に泊つたといふ子供もあつたが、まだ夜中に泣き出す様な子供は一人もありません、子供の覺悟も案外強いものである覺

悟どころではない友達と先生と寝る事が嬉しくて家の事等思ふ時がありません、此の頃は時節柄暑い爲蒲團をぬぎますから私共の中一人は必ず眼をさまして居ますから風邪の注意もしてやります。

起 床

醒めるのは大抵七時前です平素よりは稍早く眼を醒す子供もありますが、この子供は少々何となく違つた氣持がするのでせうが、此れは二回三回と慣れて来る事でせう、朝は皆元氣に先生起きましたと床の上に座つてニッコリ致します。そして私共が着物を着換へれば子供も昨晩たゞんで寝た洋服を一人で着換へそして出来ぬ乍らに寝巻もたゞんで風呂敷にちやんと包んで居ます、家に居たら洋服も着せてもらう子供が此所では一人でやつてのけます、そして床をあげる手傳迄します、同年輩や友達の賜物母や女中の居ないおかげです、かつて去年の夏附屬小學校に一週間程海水浴に行つたが歸岡後今迄凡て女中の手をかりて居た子供が其の後自分の事は勿論弟達の世話もする様になつたと聞いて居ます、この幼兒達も今自分である事を愉快とする様になると思ひます。

参 拝

洗面後岡山神社に參拜するが是れにも色々な意味あることを信じます。

朝 食

參拜の歸りにパンと果物とを求めて歸りまして食事します、今迄にはパンの嫌な子供も果物の嫌な子

供もありません唯牛乳の嫌な子は時々ありましたが、これもいつか戴く様になりました。

かくして私共は全く一日を子供と一緒に暮す譯です、そしてほんとに一人一人の子供をよく知る事が出来ます、子供達も今迄は洋服の先生しか知らなかつたのが和服の先生、顔を洗ふ先生、寝てるる先生等凡て私共の全生活を知つて呉れるので一層私等に親しんで呉れます、私共の人格が子供の生活指導に最重きをなすものだから其責任は益々重くなる譯であります。

結論

此保育については経験も淺く同一の子供を幾回も泊めるといふ番も廻つて來ぬ程の淺薄なもので充分な感想をいふ事が出來ず唯僅かに試みた實際をとりとめもなく申した丈であります、其故今後猶々考へ直さなければならぬ點も出来るかも知れぬが子供達も早く又泊る月が來ればいゝと樂み小學校にも試みようとしてゐます位今迄では成功したと申してもいゝかと思ひます。この結果如何とか専ねになるかも知れませぬが是れは理窟でなくて訓練上の問題かと思ひます。まして幼兒期に慣らさねばならぬ問題でありますから一朝一夕に効果をあげやうと考へる事は違ふ事だと思ひます、準備其他の都合で此春から實施したのですが保母の方でなれたら四季を通じて最も致し度と考へて居ます。

園児が多數で不可能だと思ひますれば別に全部を泊めなくとも宿泊保育の必要を要する子供丈でも是れを繰返す事によつて園全體に大きな影響があるものと信じます、然し是を實施するについては家庭が

信頼して呉れる丈、より以上私共は大きな責任がある譯であります、大切な生命を預つて居ることだからどんな安心な状態に子供があらましても保母は常に緊張して自分の命にかへてもといふ覺悟を持つて懸らねばならませんと思ひます。

—昭和三年七月—

この春

○岡山では吉備保育會の愈々研究的な事を喜んだ。その講習會で廣島の中村氏に會つて、廣島縣保育會の新らしい話を聽いた。予は此の兩保育會の主盟によつて、中國聯合保育大會の一回も早く行はれんことを吉備保育會の國當保育會長初め幹部の人々と中村氏とに切にすゝめた。會には四國方面の人々も澤山見えてゐた。近く實現せられなければならない中國大會には、海を跨いで四國も亦。重要な加盟者でなければならぬ。また、北の山を貫いて、山陰道の諸君も是非加はつて貰ひ度い。九州の諸君も來り參するに相違ない。そうしたら中國大會といふよりも西日本保育聯合大會といふことになる

か。予は愛藏の日本保育地圖を胸に擴げながら、想像の色鉛筆でいろいろに彩どつて見た。

○仙臺では縣の兒童保護講習の間に、短い時間を盜んで、但し盜まれる方も賛成で、幼稚園と託児所の諸君に、宮城縣保育會の創設を促した。機は熟してゐた。橋本、村松兩女史等の熱心があつた、その席で直ぐ準備委員が極まつて、着々と計畫を進められた。(五月十九日には創立總會が宮城幼稚園で擧げられる筈になつてゐる)。予はまた日本保育地圖を胸の中にひろげた。そして、歴史をもつ福島縣保育會と新進の宮城縣保育會とを主盟とする東北聯合保育大會を彩つて見た。色鉛筆をどこまで北進

倉橋生

させるべきであらうか。北海道・樺太。またしても色鉛筆のゆくへは廣がる。○和歌山では、早い櫻と菜の花とにうつとりされながらも、市保育會を中心とする縣保育會への發展を語らずにはゐられなかつた。水田課長、中村園長等の熱心は、予を俟たずして豫て動いてゐた。暖い南海は熟する事が早くなればならぬ。予の色鉛筆は此の自然の色の美しい地方を、更にどんな強烈な彩りに彩らうか。——斯くて美しい此の春は終つた。この夏には帝國教育會の教育大會の保育部が開かれる。この秋には朝鮮の教育大會の保育部が開かれる。共に太い色鉛筆で全日本を廣く一つ色に塗る大きな愉快な彩色だ。